



廣崎 誠治 議員

水道事業は予定どおりか

尾崎建設課長 本年度は新拡張区域先行事業だ

図 第2次総合計画の生活インフラの整備では、上水道の整備を地形や人口密度といった地域特性、水供給の現状、施設整備の緊急性、経済性を総合的に考慮した上で、優先度の高い地域から簡易水道、飲料水供給施設の設備の整備を推進しますと書いている。人口密度

図 水道施設の優先度は、尾崎課長 優先度はアンケートを元に住民意識調査を行い、加入希望の高い地域を優先と捉えると同時に、既設整備区域との地形的なつながりなどを考慮して検討している。

図 工事をなぜアンケートどおりに行わないのか。尾崎課長 本年度、事業を実施する地区については、新たな拡張区域である下唐原西2区と東下東地区への給水管敷設の先行事業という位置づけで事業を行っている。大池公園周辺については、水の確保が困難なところであるので、今回、拡張工事を実施している。

図 水道アンケートの結果は。尾崎建設課長 平成21年度のアンケート調査結果は加入希望者の高い順で、成恒上地区、成恒下地区で平成26年度に整備済である。次に、下唐原西1区、上唐原北地区、東下東、下唐原西2区の順番となっている。



図 下唐原西2区の一部に給水するという点と、東下に送るために大池公園の横を通るといふ答えが合ったが、下田井からの方が、東下は近いと思うが。尾崎課長 下唐原西1区は現在の簡易水道のルートから言うと、西2区を通らなければ1区へ行けないので、次に行くとすれば西2区と考える。

図 センターの設置主体は。佐矢野課長 各自治体であり、現在は町直営の地域包括ケアシステム構築や、げんきの杜を福祉の拠点施設として活用し、行政と社協の連携強化やセンターの運営体制強化のため、げんきの杜に移転する計画である。

図 大池公園方面に30年度2億円かけて工事を行うが、大池公園整備の第2段階の準備ではないのか。尾崎課長 水道管については、大池公園方面と土佐井方面からを接続した方がよいのではないかと考えている。



図 現在の職員体制はどうなっているか。佐矢野課長 主任ケアマネージャー、ケアマネージャー、看護師は社協の正職員、臨時職員は社協の臨時職員。そして、町職員の管理者と保健師を配置している。



荒牧 弘敏 議員

東九州道との連結実現を

坪根町長 要望があれば再考したい

さわやか市大平	売上高(千円以下切捨)	前年比(%)
平成27年度	1億7276万円	85.1
平成28年度	1億5570万円	90.1
平成29年度	1億5028万円	96.5

道の駅しんよしみ	売上高(千円以下切捨)	前年比(%)
平成27年度	1億7817万円	98.1
平成28年度	1億6335万円	91.7
平成29年度	1億5380万円	94.2

図 直売所(さわやか市大平・道の駅しんよしみ)の平成27年度から29年度の売上状況は。坪根町長 別表のとおり。

図 今後5、6年後の状況をどのように考えているか。坪根町長 何も対策を取らないと毎年減少していくと予想される。上毛SICの利便性を活かし、指定管理者を中心に町・出荷者協議会で検討し、改善を図ることが必要である。

図 東九州道との連結について、昨年6月議会でも町長は中止と明言した。地域の農業振興、出荷者の所得。坪根町長 東九州道との連結は、町の発展に欠かせないことと思いついては今のところ全くない。

図 東九州道との連結・直売所の建設については今のところ全くないのか。坪根町長 東九州道との連結は、町の発展に欠かせないことと思いついては今のところ全くない。

図 防犯カメラの設置状況は。岡崎課長 防犯カメラの観点では、上毛中学校に4台設置しており、不法投棄の監視用カメラ7台設置している。

図 防犯カメラの設置は。岡崎課長 防犯カメラを設置することで防犯の抑止効果が当然あると思う。今後、学校、自治会などと協議して考えたい。

図 今後の設置予定は。岡崎課長 防犯カメラを設置することで防犯の抑止効果が当然あると思う。今後、学校、自治会などと協議して考えたい。

図 防犯カメラの設置は。岡崎課長 防犯カメラを設置することで防犯の抑止効果が当然あると思う。今後、学校、自治会などと協議して考えたい。



防犯カメラ

町民からの要望、苦情は

図 町民からの要望、苦情についての対応はどうしているのか。岡崎課長 内容を丁寧に向かい対応するよう職員に徹底している。全庁的に決められたスキームはないが、担当レベルでその場で回答できる事案、課長の判断を仰ぐ事案など様々である。

図 全課での情報共有は。岡崎課長 課内での情報共有はしっかり行われていると認識している。案件の内容については課長判断により、総務課長、副町長、町長までの報告を行っている。また、案件により課長会などを通じて全課に情報提供を行うものなどに分かれている。なお、今後もよりよい住民サービスを提供するために、情報の共有を庁舎内で確実にするための仕組みづくりを十分検討したい。

図 社協の職員と答えたが、現在現場で業務を行なっている職員は社協から出向という形になるのか。佐矢野課長 これまでと同様、主任ケアマネージャーは、町内の社会福祉法人から出向となる。

図 運営主体は町で、将来、げんきの杜に移動となると、管理は誰がするのか。佐矢野課長 直営の間は長寿福祉課長がセンター長である。社協と連携をとりながら運営していきたい。